

新潟県内で牛から分離された *Mycoplasma bovis* の 薬剤感受性調査と分子疫学解析

佐藤圭介^{1)†}田中健介¹⁾秦 英司²⁾

1) 新潟県中央家畜保健衛生所 (〒959-0423 新潟市西蒲区旗屋 686)

2) 国研農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門
(〒305-0856 つくば市観音台 3-1-5)

(2025 年 4 月 28 日受付・2026 年 1 月 7 日受理・2026 年 6 月 24 日公開)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/6/79_e60/_article/-char/ja

要 約

Mycoplasma bovis は乳房炎，肺炎，関節炎及び中耳炎等のさまざまな牛疾病を引き起こす．今回，効果的な治療の実践及び抗菌剤の慎重使用を目的に新潟県内の牛由来 *M. bovis* 37 株の薬剤感受性調査と分子疫学解析を行った．全株が 16 員環マクロライド系及びテトラサイクリン系抗菌剤に低感受性の特徴を持つ遺伝子型群に属した．薬剤感受性試験でこれらの抗菌剤に全株，ツラスロマイシンに 4 株，フルオロキノロン系 (FQ 系) 抗菌剤に 9 株が低感受性を示し，薬剤感受性低下に関与する一塩基多型 (SNP) 解析結果とおおむね一致した．SNP 解析は迅速かつ適切な抗菌剤の選択を可能とする検査法であり，*M. bovis* 感染症にフェニコール系抗菌剤は有力な選択肢となり，第二次選択薬に 15 員環マクロライド系または FQ 系抗菌剤が有用と考えられた．

——キーワード：薬剤感受性，MLST，*Mycoplasma bovis*，牛マイコプラズマ乳房炎，SNP 解析．

----- 日獣会誌 79, e60～e69 (2026)